資料　１

第１０回大阪府地方協議会の議事概要

１．第９回協議会（平成３１年３月１８日開催）の概要について

（１）平成３０年度コンサルティング事業の中間報告。

（２）運送約款改正に伴うアンケート調査結果報告。

（３）取引環境、待機時間が改善されているか、また、荷主に対してもアンケート調査を行うことについて検討。

２．平成３０年度コンサルティング事業の結果報告について

（１）発荷主と運送事業者のパートナーシップ構築により、パレット活用や附帯作業見直しによる作業時間の削減が進むなか、着荷主の貨物量全体で見て約３割の改善がなされた。残りの７割についても改善事例を示すことで興味をもってもらえることが確認されている。今回の取り組みの周知により協力業者の増加を図る。

（２）発荷主と着荷主で、パレットの規格が違うなどの場合、パレット規格の統一化も詰めて行く必要がある。

（３）良い事例が出来たので、これをどのように紙・パルプ分野のサプライチェーン全体に水平展開し、賛同企業を増やしていくかが肝要。

３．協議会における次年度以降の取組について

（１）平成３１年度から新しい５年の協議会の活動が始まる。１年目の平成３１年度の取り組みとして「ホワイト物流推進運動」を進めていく。トラック業界は一般的にはイメージが悪い。「経営の見える化」「ホワイト化」を進めることで将来性のある分野となっていけるよう、協議会でバックアップしていきたい。また、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について、待機時間が長い荷主団体等へ横展開を行う。

（２）「ホワイト物流」推進のプロジェクトが関係団体や荷主等に浸透していない。参画してもらうためにも、事前の説明やＰＲが必要。

４．中央協議会の情報提供

（１）平成３１年度アドバンス事業及び今後の協議会について（案）を説明。